

U-12サッカーリーグin北海道 道東ブロック
オホーツク地区リーグ2021 代表決定トーナメント
開催要項

趣旨

オホーツク地区リーグ2021で道東ブロックへの代表決定を行わないこととなったため、新たに代表決定の機会を設ける。

名称

U-12サッカーリーグin北海道 道東ブロック オホーツク地区リーグ2021
代表決定トーナメント

主催

公益財団法人 日本サッカー協会
公益財団法人 北海道サッカー協会

主管

オホーツク地区サッカー協会 第4種委員会
遠軽サッカー協会
津別サッカー少年団

開催日

2021年8月21日(土)8月22日(日)

※「COVID-19(いわゆる新型コロナウイルス)」の感染拡大による情勢変化があった場合や天候等により日程変更が生じる場合もある。

会場

えんがる球技場(人工芝)
津別町多目的運動公園サッカー・ラグビー場

組合せ

- (1) 決定日 2020年7月11日(日)
- (2) 参加チーム確定後、4種委員長立ち合いのもと、対戦表を決定する。
今年度のリーグ戦に参加しているチームのうち、ロバパンカップ第53回全道U12サッカー大会オホーツク地区予選大会の上位3チームにシード権を与える。

開会式

実施しない

参加資格

- (1) 「U-12サッカーリーグin北海道 道東ブロック オホーツク地区リーグ2021 兼 第16回TSUBOTAKE杯 オホーツク地区 U-12サッカーリーグ」に参加しているチームであること。
- (2) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、JFA「第4種」登録の選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
- (3) 第4種年代の女子選手については(クラブ申請を承認された)同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。
- (4) 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
- (5) 選手・役員及び帯同審判員は、本大会において複数のチームで参加できない。
- (6) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、内1名以上がJFA公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。
- (7) 「参加選手」は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
- (8) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。

トーナメント形式

- (1) 参加チームを抽選で3ブロックに分け、それぞれのブロックでノックアウト方式のトーナメント戦を実施し、各ブロック1位を決定する。
- (2) 各ブロックの1位3チームをオホーツク代表とする。
- (3) 代表チームに不測の事態が生じた場合の出場チームの決定方法は、各ブロック2位のチームによる抽選で決定する。
- (4) 各ブロックの決勝戦において同点の場合はペナルティーキック方式で勝者となるチームを決定する。
- (5) 各ブロックの1位3チームによる抽選を行い、第1代表～第3代表を決定する。

競技規則

(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則2020/2021」及び「8人制サッカー競技規則」による。

競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

- (1) 競技のフィールド
フィールドの表面は、天然芝または人工芝とする。
サイズは以下のとおりとする。
フィールドの大きさ:長さ(タッチライン)68m×幅(ゴールライン)50m
ペナルティーエリア:12m
ペナルティーマーク:8m
ペナルティーアークの半径:7m
ゴールエリア:4m
センターサークルの半径:7m
- (2) ボール
試合球は少年用4号球を使用(地区協会で用意)する。
- (3) 競技者の数
競技者の数:8名(競技者のうち1名はゴールキーパーとする。)
交替要員の数:制限なし(8名以内が好ましい)。
交代を行うことのできる数:制限なし(交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。)

- (4) ベンチ入りするチーム役員の数:4名以下。なお、1名以上が(公財)日本サッカー協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。
- (5) 審判員
1人の主審と2人の副審及び1人の予備審判が指名される。
- (6) テクニカルエリア
設置する。テクニカルエリアにいる監督または指導者が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に、再度異議を示した時は、主審の判断により退場処分とし、それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。
テクニカルエリアでのビデオ撮影は不可とする。
- (7) 競技者の用具・ユニフォーム・シューズ
- ①本競技会に登録した1着以上のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない。(2着以上の持参が好ましい。)
 - ②ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる(ビブス等も可)。
 - ③ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
 - ④主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。
 - ⑤ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - ⑥アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑦アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑧シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
 - ⑨選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
 - ⑩すね当ての着用を義務付ける。
 - ⑪スパイクシューズは危険を避けるため、取替えポイントでないものとする。
- (8) 試合形式
- ①試合時間:40分(前・後半20分)
 - ②ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで):原則10分間
 - ③アディショナルタイムの表示:行う
- (9) 交代の手続き
- ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
 - ④交代は、主審、副審、補助審判の承認を得る必要はない。
 - ⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- (10) 負傷者の対応
主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。
- (11) 飲水タイム
暑熱下において、前後半中ほどに飲水タイムを採用する。飲水タイムの適用は、各試合前に大会本部が決定し、全てのピッチで適用する。飲水タイムは60秒を超えてはならない。その他の対応については、JFAより通達されている「熱中症対策ガイドライン」によるものとする。
- (12) クーリングブ레이크
暑熱下において、WBGT値が28℃(摂氏31℃)以上となった場合、クーリングブ레이크を採用する。クーリングブ레이크の適用は、前半開始前及びハーフタイム中に大会本部が決定し、全てのピッチで適用する。クーリングブ레이크は90秒以上180秒以内とする。その他の対応については、JFAより通達されている「熱中症対策ガイドライン」によるものとする。

(13) 登録選手証

出場チームは(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。但し、写真添付により、顔の確認ができるものであること。

※「選手証」とは、WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

(14) 選手証の確認

試合会場に到着次第、チームごとに行う。

※「選手証の確認」とは、上記(12)で示した登録証と選手本人を照合するものである。

懲罰

- (1) 本大会規律委員会の委員長は第4種委員長が務め、委員は副委員長・事務局長・審判委員長とする。
- (2) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については大会規律委員会において決定する。
- (3) 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の措置については大会規律委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (4) (公財)日本サッカー協会規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

表彰

- (1) 各ブロックの優勝チームには、表彰状とトロフィーを授与する。
- (2) 代表決定戦の上位3チームは、道東ブロック予選大会への出場を義務付ける。
※2021年9月12日(日) 十勝地区開催

代表者・審判員会議

8月21日(土)8時

開会式・閉会式

- (1) 開会式: 実施しない
- (2) 閉会式: 実施しない

帯同審判

出場チームは以下のとおり(公財)日本サッカー協会公認審判員を必ず帯同させること。

- (1) 4級以上の審判員2名以上
- (2) 帯同審判員は、期間中審判業務にあたる。
- (3) 帯同審判員は、審判服を着用し審判業務にあたる。
- (4) 審判員を帯同できない場合は、不帯同料として1日につき1人当たり5,000円を納入すること。

参加料

参加料は徴収しない

参加申込

- (1) 参加チームは、下記の期日までに所定の様式をEメールで大会事務局まで申し込むこと。
- (2) 参加申込
①申込: 2021年7月23日(金) 午後7時まで(登録メンバーの提出、帯同審判氏名報告)
- (3) 1団体からの複数チームの登録は認める。ただし、それぞれのチームに有資格者・帯同審判員がいて責任をもって大会運営に協力できること。
- (4) 大会不参加のチームは、期日までにその旨を大会事務局に報告すること。
【申込先】 オホーツク地区サッカー協会
第4種委員会事務局
事務局長 米谷 研郎(遠軽はやぶさ)
- (5) 申込締切後のメンバー変更があった場合、その都度事務局へ報告すること。

その他

- (1) メンバー票については、各チームにおいて事務局から送付された自チームのメンバー票3枚1組を1部として試合数分の部数を印刷し、試合開始15分前迄に1部提出すること。
- (2) 各チームともスポーツ傷害保険に加入すること。
- (3) ゴミ等は、各チームで責任をもって持ち帰ること。
- (4) 路上駐車及び駐車場の通路への駐車は厳禁とする。
- (5) 駐車場の空きスペースへ場所取りのための椅子等を置く行為を発見した場合は、4種委員会で撤去する。
- (6) 参加選手の持物については氏名とチーム名を記入し、忘れ物がないように周知・徹底すること。
- (7) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、本大会事務局において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
- (8) 試合中、当該チーム以外のピッチ内の使用は認めない。
- (9) 試合前後の空き時間を利用したピッチ内の使用は認めない。ただし、キックオフまでの時間に余裕があり、当該試合の審判団がピッチの使用を認めた場合は、この限りではない。
- (10) 「受動喫煙防止法」により、特に喫煙場所が指定されていない場所での喫煙は原則認めない。
- (11) 本競技会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・保護者など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。
- (12) 各チームの会場入りは、試合開始前1時間30分からとする。
例) 11時kickoffの場合、会場入りは9時30分から。
- (13) 試合中のカメラ撮影について
チーム役員、救護スタッフによる、テクニカルエリア及び、チームベンチでの撮影はできない。
- (14) 各チームは、救護スタッフ1名を自チームの試合中、帯同させる。救護スタッフの2週間分の検温チェック票を試合当日、本部に提出する。
- (15) 各チームは、必要に応じて撮影スタッフを選任し、選手と反対サイドでの撮影を行ってもよい。この場合、撮影スタッフの2週間分の検温チェック票を試合当日、本部に提出する。
- (16) 新型コロナウイルス感染症対策のため、無観客での開催とする。